

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	9	政策名	参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる
所管部	産業・地域振興支援部		関係部

2 政策のめざす方向性

町会・自治会をはじめ、NPO、ボランティア組織、商店会などコロナ禍で一時的に停滞した地域コミュニティを支える多様な主体の活動を支援し、誰もが快適にいきいきと暮らすことができる地域共生社会の取組を地域ぐるみで実現していきます。あらゆる世代がコミュニティの場で活動の中心となって活躍できるよう、地域活動の担い手となる人材を育成し、地域コミュニティの活性化をめざします。コミュニティ活動を行う上で必要な情報が必要としている人に確実に届くように、デジタル化を推進し、町会・自治会等による情報発信の強化を支援していきます。

SDGsとの関係



3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		計画目標値	達成度 ※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
22.2%	31.4%	35.8%	C	

これまでの取組と成果
地域コミュニティを支える多様な主体が継続的に活動できるよう、地域の活性化を後押ししてきました。より多くの方が地域活動に関わる機会を創出するため、地域イベントや交流の機会づくりを通じて、新たな担い手の発掘や人材育成に取り組むことで、地域コミュニティにおける活動の幅や担い手の多様化を進めてきました。

課題と今後の方向性
※未達成の場合は原因分析を含む
地域活動の担い手不足や高齢化、活動負担の偏在に加え、デジタル活用や団体間連携に差が生じていることが課題となっています。今後は、参加しやすい仕組みづくりにより担い手の裾野を広げるとともに、デジタル化を推進し、多様な主体が連携・協働できる地域コミュニティの活性化を図っていきます。

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	コミュニティ活動に取り組む多様な主体への支援	町会・自治会活動を担う役員数について「ちょうどいい」と回答した割合	C
		NPO活動助成制度利用団体数	
②	コミュニティ活動を担う人材と組織への支援	区民参画会議の参加者数	A
		安全で安心なまちづくりに向けた活動参加者数	
③	様々な媒体を活用した地域活動情報の共有によるコミュニティの活性化	総合支所X（旧Twitter）のフォロワー数	A
		地域を知る事業の参加者数	
④	コミュニティ活動の場の提供	区民センター利用率	A
		伝統文化交流館「交流の間」利用件数	
⑤	コミュニティ活動の機会の充実	地域と連携・協働、支援しているイベントの参加者数	A

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	3,601,010	2,174,222	3,453,416
流用・補正	△74,239	△54,185	-
決算額	3,216,642	1,969,449	-
執行率	91.32%	92.90%	-
6 政策を取り巻く社会経済情勢等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	物価上昇や人手不足、働き方・生活様式の変化により、地域活動に関わる時間や人の確保が難しくなる一方、地域のつながりや多様な主体による連携は、災害時の共助や高齢者の孤立を防ぐうえで、地域を支える重要な基盤となります。		
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	MINATOビジョン策定に向けた区民等意識調査では、地域活動への参加をしている方の中では、町会・自治会が最も多く選択されていますが、一方で、地域活動の実施を「特になし」と回答している方が最も多く、7割弱を占めています。		
7 所管課による評価【一次評価】			
政策の達成状況	施策の大半については計画目標値を達成しているものの、町会・自治会における担い手不足などの課題における指標の達成には至らず、政策としての目標値は未達成を見込んでいます。		
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	町会・自治会における担い手不足などの課題については、短期間で効果が現れる対策を講じることが難しい状況にあります。 また、少子高齢化の進行等の社会構造的要因の影響も受け、政策目標において目標未達成となった要因であると見込まれます。		
課題と今後の方向性	少子高齢化や住民同士の交流の希薄化などの環境の変化が進行しているものの、区と町会・自治会などの地域活動団体が築いてきた信頼関係を「地域の力」として今後も大切に守り、発展させていくため、これらの団体が円滑に活動を継続できるよう、各地区総合支所を中心に地域の声に丁寧に耳を傾け、協働して地域の課題解決に取り組みます。		
8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】			
評価	B：政策目的を相当程度達成		
政策の達成度	・ 施策のほとんどが「A」の評価となっていることについて考慮する必要があります。 ・ 新たな地域コミュニティの形成に向け働きかけていくという観点から、施策の成果に鑑みても総合評価は「B」評価が適切です。 →以上を踏まえ、評価は「B」とします。		
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・ 重点的に取り組むべき施策 など	・ 地域とのつながりが希薄な住民もみられる中で、地縁の結束によるコミュニティ組織を中心とする従来型の地域コミュニティのあり方を見直す必要があります。 ・ 担い手不足を補うため、集合住宅の管理組合を新たな地域の担い手として位置づけるなど、多様な主体がコミュニティ活動に参画できる仕組みを構築する必要があります。 ・ 成果指標「NPO活動助成制度利用団体数」については、利用団体数だけでなく、申請件数や相談件数など施策の裾野の広がりを示す指標も用いるべきです。 ・ デジタル化の推進に際しては、各団体の取組に任せるだけでなく、区が主導し統一的なプラットフォームを整備するなど、より積極的な支援が必要です。 ・ 大規模な開発地域等においては、行政がデベロッパーと住民の仲介役を担ったり、コミュニティ間の連携を促進する「仲介者」の人材育成に取り組んだりするなど、新たな関係構築を支援していく必要があります。 ・ 町会・自治会は、イベント参加者が継続的に取組に関与できるような新たな仕組みづくりを進めていく必要があります。		

施策評価シート

政策No	9	政策名	参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる
施策No	①	施策名	コミュニティ活動に取り組む多様な主体への支援
目標・期待する成果	コロナ禍の影響により停滞したコミュニティ活動が再び活発になり、地域社会の活力となるよう各活動主体を支援します。町会・自治会やNP0等が地域の課題解決に向けた取組を通じてつながりを持ち、地域を支えるコミュニティへと発展することをめざします。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	地域振興課	関係課	

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
町会・自治会活動を担う役員数について「ちょうどいい」と回答した割合		45.8%	41.9%	-	-	45.0%	50.0%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	-	ホームページ作成等にかかる講座を実施し、町会・自治会のデジタル化を推進するとともに、町会・自治会の抱える課題に専門のコンサルタントが伴走支援を行い、地域社会の活力となるよう支援しました。			令和7年度から学識経験者等で構成する「港区地域コミュニティ検討委員会」を設置し、港区の地域特性を踏まえた地域コミュニティの在り方を検討し、新たな支援策を検討します。		
令和7年度	-	港区地域コミュニティ検討委員会を設置し、昨今の物価高騰を踏まえた町会・自治会への補助金の増額やマンション自治会の設立要件の緩和など効果的な支援策を検討し、令和8年度から実施しています。			町会・自治会等の地域活動団体を取り巻く現状や課題を踏まえ、港区地域コミュニティ検討委員会からの報告書を基に、より効果的な支援の在り方について検討を進めます。		
令和8年度	c	地域コミュニティを支える町会・自治会をはじめとしたNP0やボランティア団体等さまざまな活動主体に対する支援を包括する計画を策定し、支援内容の体系化と充実を図ります。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
NPO活動助成制度利用団体数		6団体/年	2団体/年	5団体/年	4団体/年	4団体/年	7団体/年
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	募集要項の見直しや事前相談の実施により、申請数は大きく増加しました。			よりわかりやすく、活用しやすい助成金となることを目指し、審査委員からの意見を踏まえ、募集要項の見直しを続けます。		
令和7年度	c	募集要項の見直しや事前相談の実施等によって申請団体は令和6年度が7団体、令和7年度が6団体と目標値に近い申請数を受けましたが、審査によってそれぞれ2団体が不交付となったため、実績としては目標値を下回る結果となりました。			申込団体数は目標値に近い数値で推移しており、審査の結果によって不交付となる団体がいることで、利用団体数が下がっています。申込団体が制度の準備や理解を進めるため、支援体制の強化を検討します。		
令和8年度	c	事前相談期間を1か月前倒しし、団体が申請書類を作成するのに十分な準備期間を取れるよう見直しをするなど、申請団体数の増加に向けて取り組みます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	C：計画目標を達成できない
施策の達成状況	・町会・自治会に多角的な支援を継続しているものの、町会・自治会を支える担い手の減少が進んでおり、目標の達成は見込めません。 ・令和8年度のNPO助成事業申請団体数は4団体のため、目標の達成は見込めません。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・町会・自治会の担い手不足や役員への業務の集中といった課題は、すぐに解決するものではなく、担い手の育成や業務のデジタル化などの支援策を地道に実践することが有効であると考えています。 ・事前相談を受けた団体の申請率が低いため、事前相談の内容や実施時期が需要にあわなかったことが考えられます。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	・担い手不足は中長期的な課題であることを踏まえ、新たな担い手の発掘・育成や、役員の負担軽減、デジタルツールの活用による事務の効率化などを継続的に推進していきます。 ・地域課題の担い手となる団体を継続的に支えていく観点から、相談体制の充実等を含めた様々な支援を検討します。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	9	政策名	参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる
施策No	②	施策名	コミュニティ活動を担う人材と組織への支援
目標・期待する成果	様々な人が地域に関わりあいながら生活していく中で、コミュニティリーダーとして多様な活動主体同士をつなげ、地域事業や地域課題の解決に主体的に取り組む人材を養成します。地域の安全・安心のための活動を支援し、地域への愛着を深める取組を進めていきます。		
SDGsの ゴールとの 関係	 		
施策担当課	地域振興課	関係課	

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
区民参画会議の参加者数		179人	223人	213人	252人	291人	308人
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	地域に関心を持つきっかけとなるよう地域住民に働きかけを続け、区民参画会議への参加者増加に努めました。地区版計画に関する会議体の招集がなかったため、参加者数は微減しています。			地区版計画の改定の有無によって増減していますが、全体の参加者数は順調に推移しています。引き続き広報等を充実させ、区民による区政への参画を推進します。		
令和７年度	a	地域住民が地域活動に目を向ける機会を創出するため、関心のある区民の目に届くよう積極的な募集を行い、参加促進を図りました。参加者は順調に増加しました。			区民参画会議への参加者は増加していますが、主体的に地域課題の解決に取り組み、地域活動の担い手となる人材を育成するために、区民参画組織に関わる人の裾野をさらに広げていきます。		
令和８年度	b	地域活動への積極的な参加促進を図り、相当程度達成する見込みです。引き続き地域住民に高い関心をもってもらえるよう、区民参画組織を運営していきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
安全で安心なまちづくりに向けた活動参加者数		2,051人	15,205人	16,157人	17,142人	18,111人	16,128人
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和６年度	a	防災イベントや防犯パトロール、地域清掃など、地域の安心・安全につながる取組の周知と積極的な参加を呼びかけました。			参加者の推移から安全・安心を高める活動への参加意識は地域に根付いていることが伺えます。企業等も巻き込みながら引き続き参加者の増加に努めます。		
令和７年度	a	防災や防犯、地域清掃などの安全・安心に資する活動への参加促進を継続した結果、活動参加者数は前年度を上回る結果となり、地域における取組の広がりが見られました。			既存の参加者による継続的な取組を基盤としつつ、新たな参加者の参画を促進し、地域の安全・安心を支える人材の裾野拡大を図ります。		
令和８年度	a	参加しやすい取組の展開や周知の工夫を進め、新たな層が関わるきっかけづくりに取り組み、活動参加の機運を広げていきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	- 区民参画会議及び安心・安全なまちづくりに向けた活動はどちらも参加者が増加しており、施策の計画目標は達成できると見込んでいます。 - 区民参画会議の参加者数については、中間改定の際に計画目標値を上方修正したことから、相当程度の達成になる見込みです。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	- 成果指標「区民参画会議の参加者数」は令和7年度から名称を変えた区民参画組織「麻布カウンスル」などへの参加者の増加が相当程度の達成の要因となりました。 - 成果指標「安全で安心なまちづくりに向けた活動参加者数」は主に芝地区におけるクリーンキャンペーンや麻布地区の落書き消去活動への参加者の増加が達成の要因となりました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	- 地域活動への関心と参加を促す周知を継続し、その広がりを将来の地域の発展につなげる観点から、次代のコミュニティを担う人材の育成に取り組みます。 - 防災・防犯、清掃活動など地域に根差した活動の、現在の担い手の活動継続を支援するとともに、新規参加者の裾野を広げ、持続的なコミュニティ形成を図ります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	9	政策名	参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる
施策No	③	施策名	様々な媒体を活用した地域活動情報の共有によるコミュニティの活性化
目標・期待する成果	区民が地域の情報を容易に入手できるようにきめ細かな情報発信を行い、事業に参加しやすい環境を構築することで、地域事業参加者数を増やします。地域事業に参加した区民が更なる愛着を地域に持つことで、コミュニティの活性化をめざします。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	地域振興課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総合支所X（旧Twitter）のフォロワー数		1,689人	6,655人	8,425人	9,071人	10,571人	9,270人
	達成度	当該年度の実績と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	イベントの告知や地域の情報を積極的に発信したことで、すべての支所でフォロワーが増加しました。			目標値に向けて順調に推移しているため、引き続き区民の興味関心をひくような、多様な方法での情報発信を進めていきます。		
令和7年度	a	令和7年9月1日をもってX（旧ツイッター）は再編され、東京都港区（地域情報）に統合されたことにより、令和7年8月のフォロワー数を記載しています。フォロワー数は順調に推移しており、7年度末には計画目標値に達成する見込みでした。			再編後も地域の情報をわかりやすく周知するため、定期的にきめ細かな情報発信を続けていきます。		
令和8年度	a	再編後は1つのアカウントとなったため、フォロワー数の比較はできませんが、伸び率を参照すると、計画目標値を達成する見込みです。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
地域を知る事業の参加者数		41人/年	298人/年	404人/年	388人/年	394人/年	315人/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	SKDs学びのまちプロジェクトでは、令和５年度から芝浜小学校も加わり、開催回数が1校分増加しています。地域の特色を生かした講座や事業を通じて、地域への愛着の醸成に取り組みました。			引き続き参加者が地域活動の担い手として地域コミュニティに貢献してもらえるよう、事業構築や情報発信に取り組みます。		
令和７年度	a	地域情報や地域活動を知る機会を提供することで、地域事業への参加促進や地域への愛着の醸成を図り、計画目標値を超える人数が参加するなど、一定の成果を上げました。			地域事業への参加者を増やしていくため、事業内容や周知方法の工夫をして、参加者層の拡大を図っていきます。		
令和８年度	a	例年通り、高い水準で事業への参加者数が推移する見通しであり、計画目標値の達成が見込まれます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	・X（旧ツイッター）は令和7年8月に統合されましたが、それまでの数値の推移から、計画目標値は達成できたものと見込んでいます。 ・地域を知る事業の参加者数は高い水準で安定して推移しており、計画目標値を達成できる見込みです。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・成果指標「総合支所X（旧Twitter）のフォロワー数」は、情報発信の回数だけでなく、内容の充実も意識した運用を実施したことが達成の要因となりました。 ・成果指標「地域を知る事業の参加者数」は、芝浦港南地域に新たな小学校ができたこと等から参加者がさらに増加し、達成の要因となりました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	ホームページやSNSを活用した情報発信など、広報の充実・強化に重点を置き、誰もが情報を入手できる環境を作ります。事業内容や取組の趣旨を分かりやすく周知することで、事業への理解促進を図るとともに、さらなる事業参加者数の増加につなげていきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	9	政策名	参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる
施策No	④	施策名	コミュニティ活動の場の提供
目標・期待する成果	地域の課題解決に向けた区民と区との協働の場や区民相互の活動の場として、区民協働スペース、区民センター、伝統文化交流館等の利用を推進します。区内にある資源を活用し、多様な人が関わりあう場づくりに取り組んでいきます。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	地域振興課		関係課 芝浦港南地区総合支所管理課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
区民センター利用率		55.6%	71.4%	66.5%	68.2%	74.7%	82.9%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	各区民センターで実施するイベントを通じ、区民相互の活動の場としての浸透を図りました。			区民や地域で活動する団体の交流促進の場及び各地区の特性や地域資源を生かした活動の場として、利用しやすい施設となるよう充実を図ります。		
令和７年度	b	稼働率の低い貸室の活用に向け、共催事業や大使館利用の促進、SNSでの周知を実施するとともに、登録団体の拡充や利用の少ない曜日・時間帯の有効活用に取り組みました。			稼働率の低い貸室や時間帯のさらなる有効活用に向け、ニーズに応じた事業企画や利用促進の強化が課題です。今後は、登録団体の拡充や情報発信の充実を図り、利用機会の拡大と利用率向上を目指します。		
令和８年度	b	稼働率の低い貸室や時間帯の有効活用に向け、共催事業や大使館利用の促進、SNSによる周知強化を図るとともに、登録団体の拡充により利用機会の拡大に取り組みます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
伝統文化交流館「交流の間」利用件数		106件	330件	406件	507件	500件	350件
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	区民が安心して利用できるように基本的な感染対策を徹底しながら、伝統芸能などの公演、芝浦歴史講座などを実施し、区民相互の交流の場として利用を推進しました。			令和６年度後半より、交流の間の利用申請及び、来館者数も増え、催し物の参加も盛況となっています。港区内外の更なる認知度向上のため、積極的な情報発信を行っていきます。		
令和７年度	a	交流の間では、「将棋」や「瞑想」事業を一年を通して毎月実施しました。予約・参加費なしで誰でも参加できる内容としたことで、地域住民だけでなく地域の企業の方など幅広い層からの参加者が増加し、地域活性の一助となりました。			令和７年度の試みとして外国人向けの「きもの着付け講座」を実施しました。引き続き国際交流に着眼した事業を行っていきます。また、夏休み等の長期休みに来られる場所として、子ども向け講座やイベントにも着目し、区民への周知を行っていきます。		
令和８年度	a	引き続き、交流の間で予約・参加費なしで参加できる事業を実施し、地域住民だけでなく在勤者も含めて幅広い層からの参加を募ります。また、外国人も日本の伝統文化に触れることができる機会を提供します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	・区民センター利用率については、コロナ禍が明けたことや各種取組により上昇しているものの、高齢化等により活動を縮小した団体もいることで、上昇率が鈍化しており、目標値には到達しない見込みです。 ・伝統文化交流館「交流の間」利用件数については、各種催し物の実施などにより施設の認知度が上がり目標値を達成しています。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・区民センターについては、稼働率の低い貸室を利用してもらうための講座実施やSNSを活用した周知等により利用率の上昇を図ることができました。 ・伝統文化交流館「交流の間」利用件数については、外国人向けの事業実施や、気軽に参加できる事業実施などにより施設の認知度が上がったことで利用件数が増えました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	区民が安心して利用できるよう、施設の維持管理を適切に行うとともに、区民センターや伝統文化交流館等を活用し、多様な人が関わりあう場を作るための支援に取り組みます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	9	政策名	参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる
施策No	⑤	施策名	コミュニティ活動の機会の充実
目標・期待する成果	様々な価値観を持った人々が楽しめる多種多様なイベントを実施し、地域の持つ魅力を発信します。多くの区民に参加してもらうことで、人と人が関わりあう機会を提供します。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	地域振興課	関係課	

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
地域と連携・協働、支援しているイベントの参加者数		301人	11,977人	18,168人	14,457人	15,000人	11,900人
	達成度	当該年度の実績と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	コロナ禍を経て、イベントへの参加機運は向上しています。地域住民が気軽に参加できるよう広報等に工夫をしたことから、参加者数は増加しています。			敷居が低く、誰でも気軽に活動に参加できるイベントとなるよう、地域との連携を強化し、集客の増加に努めます。		
令和7年度	a	誰もが楽しめるイベントを実施し、地域の魅力を発信するとともに、人と人が関わり合う機会の創出に取り組みました。幅広い世代の区民が地域活動に触れる機会を提供できています。			イベントの実施回数の減により、昨年度から指標となる数は減少していますが、各回ごとの参加者数は依然として高い水準にあります。新たな担い手の参画促進等も視野に、引き続き人と人とのつながりを育み、地域の魅力を発信する機会の充実を図っていきます。		
令和8年度	a	港区政80周年記念の要素を設けることや、SNSの効果的な使用によって、今まで以上に裾野の広い、誰もが参加しやすい事業の実現に取り組んでいきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	コミュニティ活動の機会の充実のために、各地区で実施している事業の参加者は計画目標値を上回っており、地域の魅力発信や人と人が関わりあう機会の提供などを通じて施策の目標は達成できています。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	ふれ愛まつりだ、芝地区！やみなとパーク芝浦フェスティバルといった、地域に根差し、愛着を持たれているイベントにおいて、全国連携自治体との関係性を活かした取組などによって多くの来場者を確保していることが要因の一つと考えられます。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	区内では、地域ごとの特性を生かし、それぞれ工夫を凝らしたイベントが開催されています。こうした各種イベントについて、より幅広い来場者の関心と呼ぶ内容とするとともに、イベント相互の相乗効果や参加者同士のつながりの醸成を図りながら、地域コミュニティの基盤づくりを目指していきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）